

## 第1日目 3月20日 (水) 午前

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
9:00		〈農業・農村〉 201 柳田健一郎 (名古屋大・院) : 四万十川中・下流域における河川漁撈の存続要因—漁撈者に注目して
9:20		202 小嶋 和 (早稲田大・院) : 1960年代以降の桜島の土地利用変化から見る火山との共生
9:40		203 山崎恭平 (東京大・学) : 山村における世帯経済と農業の継続—邑南町布施地区を対象に
10:00		204 稲垣裕也 (東京大・学) : 兼業稲作地帯における農家群の変容と集落営農—三重県いなべ市H地区を事例として
10:20		205 三原昌巳 (神奈川大) : 東京大都市圏外縁地域における障害者雇用—千葉県長生郡白子町を事例として
10:40		206 深瀬浩三* (鹿児島大) ・宮地忠幸 (日本大) : 埼玉県北部の野菜産地における産地市場の存続意義
11:00		207 高梨子文恵 (弘前大) : 北部ベトナムにおけるフードサービス業の展開と原料調達
11:20		208 池田和子 (農政調査委員会) : 農業振興の取組みに関する地理学実証研究成果の分析
11:40		209 元木理寿* (常盤大) ・佐々木 達 (宮城教育大) : 世界農業遺産の認定の効果と課題—宮城県大崎市を事例として
12:00	昼 休 み	

## 第1日目 3月20日 (水) 午前

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
<p>〈地理教育〉</p> <p>301 山口幸男(群馬大・名誉)：戦時下の地理教育論に関する考察—新しい評価の提示</p>		9:00
	<p>〈地形〉</p> <p>402 八反地 剛(筑波大)ほか：表層崩壊にともなう水路頭の移動と1次谷流域堆積物の年代の関係—広島県広島市安佐南区の花崗岩流域の事例</p>	9:20
<p>303 佐藤廉也(大阪大)：改善されない高校地理教科書の焼畑に関する誤記述</p>	<p>403 渡辺満久(東洋大)ほか：2016年熊本地震と清正公道に沿う被害</p>	9:40
<p>304 河合豊明*(品川女子学院)・河原佳音(品川女子学院・高)：高校地理における地域分析と政策立案</p>	<p>404 中井香月(関西大・院)：黒潮影響下にある紀伊半島と室戸半島間の太平洋岸ビーチの造礁サンゴ礁の帯状分布</p>	10:00
<p>305 川瀬久美子(愛媛大)：課題解決への意欲を喚起する高等学校地理学習の単元開発—水俣病問題への支援者の関わりを題材として</p>	<p>405 木庭元晴(関西大)ほか：沖永良部島隆起サンゴ礁海岸の潮間帯高位プラットフォームの生成時期</p>	10:20
<p>306 村田 翔(広島大・院)：防災教育を担う中核教員育成に関する研究—大分県を事例に</p>	<p>406 菅 浩伸(九州大)ほか：最終氷期最盛期の低海水準に対応した海底地形面の分布—琉球列島沿岸域のマルチビーム測深結果と最新の海水準研究を基にして</p>	10:40
<p>307 松下直樹(愛光中・高)：中学校における修学旅行プランニングを通じた日本の諸地域学習</p>	<p>407 宮本真二*(岡山理科大)・岩国市産業振興部：岩国平野における中世から近世の地形環境変遷と土地開発史</p>	11:00
<p>308 石毛一郎(県立成田国際高)ほか：高校生の地理屋を育てる</p>	<p>408 船引彩子(東京理科大)ほか：メコンデルタ、オケオ遺跡における古代運河の形成</p>	11:20
<p>309 河本大地(奈良教育大)：学校における地域学習はどうあるべきで、そのために何をどう研究するか？</p>	<p>409 南雲直子*・江頭進治(土木研)：シッタ川河口域の流路変化に関する地理学的検討</p>	11:40
<p>昼 休 み</p>		12:00

## 第1日目 3月20日 (水) 午前

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
9:00		
9:20		<水文>
		602 小寺浩二*(法政大)・浅見和希(法政大・院):集中豪雨の履歴から見た災害危険度の検証—岡山県浅口市の事例から
9:40	<気候> 503 松本 淳(首都大)ほか:ACRE—Japan・データレスキューによる19世紀末以降のアジアモンスーン変動史の解明	603 矢巻 剛(法政大・院)ほか:長崎県島嶼の水環境特性と形成要因(3)
10:00	504 遠藤伸彦*(農研機構)・松本 淳(首都大):旧フランス領インドシナにおける気象観測史	604 猪狩彬寛(法政大・院)ほか:草津白根山周辺地域の水環境に関する研究(4)
10:20	505 久保田尚之(北海道大)ほか:フィリピンの降水量データレスキューから発展した夏季アジアモンスーン変動研究	605 堀内雅生(法政大・学)ほか:箱根山噴火(150629)後の周辺水環境に関する研究(6)
10:40	506 寺尾 徹(香川大)ほか:インド亜大陸北東部における降水特性変動解析のための気象データレスキュー	606 浅見和希(法政大・院)ほか:御嶽山噴火(140927)後の周辺水環境に関する研究(8)
11:00	507 加藤内藏進(岡山大)ほか:長期変動の切り口からみる日本付近の多彩な季節サイクルと地域性の気候学(暖候期の降水を中心に)	607 大貫靖浩*・安田幸生(森林総合研):ブナ林は本当に水源涵養機能が高いのか?—岩手県安比高原における実証研究
11:20	508 松本健吾(岡山大・院)ほか:中国～東西日本における梅雨期の日々の降水変動と季節進行に関する気候学的解析(大雨の出現状況にも注目して)	608 齋藤 圭*(法政大・院)・大久保賢治(岡山大・院):河川・地下水の流入負荷と塩湖の水質形成
11:40	509 藤部文昭(首都大):1899年8月15日の台風による鹿児島島の強風と災害	609 Shi, M.* (Hokkaido Univ., Grad.Student)・Shiraiwa, T. (Hokkaido Univ.): Estimation of freshwater discharge from the Kamchatka Peninsula to its surrounding oceans
12:00	昼 休 み	

## 第1日目 3月20日 (水) 午前

第 7 会 場	第 8 会 場	開始時刻
<p>〈海外研究①〉</p> <p>701 相馬拓也 (早稲田大) : ネパール西部開発区域ダウラギリ県におけるアグロフォレストリー事業による村落開発の評価と展望</p> <p>702 白坂 蕃 (東京学芸大・名誉)ほか: ネパール東部, クンブ=ヒマールにおける農牧業と集落の変容</p> <p>703 孫 玉潔 (北海道大・院)ほか: ネパール, サガルマータ(エベレスト山)国立公園およびバッファゾーンにおける地域人口の流動性への観光の影響</p> <p>704 渡辺悌二 (北海道大)ほか: ネパール, クンブ=ヒマールにおけるトレッキング観光とそれをささえる家畜輸送</p> <p>705 渡辺和之 (阪南大) : 山岳観光と移牧—中部ネパール, アンナプルナ南麓における事例</p> <p>706 張 伊夢 (北海道大・院)ほか: 中国北西部, 青海省, 祁連県における家畜放牧パターンの草地被覆変化に影響を与える気候要因</p> <p>707 陳 林 (広島大) : 中国・福建省の内陸農村にみられた農家の分化</p> <p>708 何 晨 (元立教大・院) : 北京・什刹海歴史文化保護区における観光要素の変容—北京オリンピック以降の変化</p> <p>709 松宮邑子 (明治大・学振DC) : ウランバートルにおけるゲル地区再開発事業とその実態</p>	<p>〈地域政策〉</p> <p>802 佐野 誠 (駒澤大・院) : 公共交通空白地の抽出と地域交通導入に向けた取り組み—神奈川県横浜市を事例に</p> <p>803 東田大樹 (駒澤大・院) : 道の駅の設置・運営における行政の関与—群馬県を事例に</p> <p>804 土'谷敏治 (駒澤大) : ひたちなか市民の日常の移動行動と公共交通政策への評価</p> <p>805 美谷 薫 (福岡県立大) : 福岡県飯塚市における合併後の「行政資源」の配分と住民の評価</p> <p>806 廣瀬俊介 (東京大)ほか: ハンセン病経験者の生活史に学ぶ持続的な生活環境の形成—国立療養所松丘保養園の歴史環境の地域における社会的価値の予備的評価を例として</p> <p>807 近藤祐磨 (九州大・学振DC) : ローカルを超えた環境運動のネットワーク化—玄界灘沿岸地域の海岸林保全の過程とその影響</p> <p>808 関村オリエ (群馬県立女子大) : 父親たちの地域参加</p> <p>809 岩間信之 (茨城キリスト大)ほか: 食料品充足率を加味した食料品アクセスマップの作成と買い物環境の再検討</p>	<p>9:00</p> <p>9:20</p> <p>9:40</p> <p>10:00</p> <p>10:20</p> <p>10:40</p> <p>11:00</p> <p>11:20</p> <p>11:40</p> <p>12:00</p>
<p>昼 休 み</p>		

## 第1日目 3月20日 (水) 午後

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
13:00	シンポジウム S1 (公開)  ジオエシックスとジオパーク	〈都市・交通〉 211 大石太郎(関西学院大):カナダ, ヴェンク クヴァー大都市圏におけるフランス語話 者および非公用語話者の居住パターン
13:20	日本地理学会ジオパーク対応委員会 オーガナイザー:目代邦康(日本ジオサービス)・ 新名阿津子(伊豆半島ジオパーク)	212 根田克彦(奈良教育大): ロンドンに おけるストラトフォード・シティと既 存センターの統合
13:40	開始時刻 13:00	213 松尾卓磨(大阪市大・学振DC):英国メデイ アによるロンドンのジェントリフィケーション 発生地域の認識
14:00	S101 〔趣旨説明〕 13:00-13:30 目代邦康*(日本ジオサービス)・新名 阿津子(伊豆半島ジオパーク): ジオ エシックスとジオパーク	214 井内麻友美(日本大・院): 日本にお ける公営プラネタリウム施設の立地と 活用
14:20	〔座長〕有馬貴之(帝京大)・目代邦康 S102 13:30-14:00 目代邦康(日本ジオサービス): 日本 のジオパークにおける地質遺産保護の 実態と問題点	215 谷 謙二*(埼玉大)・春原光暁(上田市役 所): 1997年から2016年にかけての東京都 中央区におけるマンション供給と土地利用 の変化
14:40	S103 14:00-14:30 小野有五(北海道大・名誉):ジオエシッ クスと先住民族—知床世界遺産登録にお けるアイヌ民族の事例から	216 楠引素夫*(青森大)・西山弘樹(宇都宮共 和大): 空き家問題と地域再生をめぐる住民 と大学の協働—青森市・幸畑団地と青森大 学の事例から
15:00	S104 14:30-15:00 鈴木晃志郎(富山大): 景観紛争にお けるスケールの政治とジオエシックス	217 有村友秀(筑波大・院): 鹿児島市中心部 における都心機能の分布とその変容—九州 新幹線開通による駅周辺開発に着目して
15:20	S105 15:10-15:40 竹本弘幸(拓殖大): オリジナルデータの取 扱いと研究者倫理—磐梯山の事例	218 山下 潤(九州大): 都市の持続可能な移行 に関する予察的考察—建築物のエネル ギー効率を事例として
15:40	〔コメント〕 15:40-16:00 吉永明弘(江戸川大)	219 Wang, R.(Univ. of Tsukuba, Grad. Student): Accelerating heat island phenomena by rapid urbanization and the future prediction: A case study of Nanjing City, China
16:00	〔総合討論〕 16:00-16:50	220 須崎成二(首都大・院): 「新宿二丁 目」地区と英語圏型ゲイ・ディストリ クトとの比較
16:20	終了時刻 16:50	221 小森優勝(明治大・院): ファッショ ンストリートとしての中目黒の形成と 変化
16:40		222 後藤 寛(横浜市立大): ファッションブランド 店の集積状況にみる都市体系と中心商業 地の現状
17:00		

## 第1日目 3月20日 (水) 午後

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
〈アウトリーチ〉	〈地形〉	
311 一ノ瀬俊明(国立環境研):地理学のアウトリーチ—環境科学との対比において	411 太田凌嘉(京大・院)ほか:過度な森林資源の収奪を受けた山地における流域の削剥履歴—滋賀県・田上山地における定量的評価	13:00
312 中川優希(お茶の水女子大・学)・長谷川直子*(お茶の水女子大):一般書にみる地理学のアウトリーチ	412 大内俊二(中央大):侵食地形の発達過程を理解するための地形実験	13:20
313 植木岳雪(千葉科学大):沖積層のボーリングコアを用いた学校教員向けのアウトリーチ—教員免許状更新講習の一環として	413 小室 隆*(山口大)・田林 雄(関東学院大):UAVを用いた山口県美濃が浜の微地形観測	13:40
314 早川裕弐(北海道大)ほか:高精度地形情報によるダンボール立体モデルを用いた自然地理的現象の理解の促進	414 阿子島 功(山形大・名誉):最大降水による洪水浸水想定区域図からみた低地の微地形発達史	14:00
315 小倉拓郎(東京大・院)ほか:高精度・高精度地形情報を用いた地理的思考を促す地球科学教育の実践	415 鹿野健人(法政大・学)ほか:堆積速度変化に基づく完新世における関東平野中央部の河道変遷	14:20
〈地図・GIS〉		
316 伊藤智章(県立裾野高):アナログGISによる必修「地理総合」向けGIS教材の作成について	416 高橋尚志*(東京大・院)・須貝俊彦(東京大):関東地方,多摩川・荒川上流河谷における,支流性堆積物の滞留・再移動と後期更新世以降の河成段丘面の形成	14:40
317 栗栖悠貴*・稲澤容代(国土地理院):地理院地図とSNSを活用した地理教育支援	417 高波紳太郎(明治大・院):大隅半島笠野原台地における低位段丘の発達過程	15:00
318 小林岳人(県立千葉高):高等学校地理学習における各国の官製Web地図の利用とその効果	418 小松原 琢(産総研):段丘発達史の定説(貝塚モデル)に対する疑問	15:20
319 木村惟啓(東京学芸大・院):高校地理教育におけるWeb GISを利用した学習および教材開発	419 丹羽雄一(中央大):三陸海岸における完新世地殻変動の空間的分布	15:40
320 原 雄一(京都学園大):地図アプリで歩く地域再発見の道「フットパス」	420 金 幸隆(大阪市立大):三浦半島における海面の相対的な水位上昇の要因—住人の不安と誤認を解消するための自然地理学調査から	16:00
321 山内啓之(東京大)ほか:GIS実習用教材の改良のための利用状況調査	421 吉田明弘(鹿児島大)ほか:鹿児島県国分平野における花粉分析に基づく最終氷期末期以降の植生変遷と気候変動	16:20
		16:40
		17:00

## 第 1 日 目 3月20日 (水) 午後

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
	〈気候〉	〈歴史・文化〉
13:00	511 中川清隆*・渡来 靖(立正大):我が国における対流圏界面高度と対流圏気温減率の年変化の地域差	611 佐藤弘隆(立命館大・学振DC):近代京都における借家の実態と祭礼運営一祇園祭りの山鉦町を事例に
13:20	512 多田楽空*(鳥取環境大・院)・重田祥範(鳥取環境大):山陰地方東部における強風の出現頻度と突風率の時空間的な特徴	612 貝沼良風(新潟大・院):参加者のアイデンティティからみる現代の祭りの存立要因—山形花笠まつりを事例に
13:40	513 重田祥範(鳥取環境大):津山盆地における霧の発生日数と地域特性	613 鈴木晃志郎*(富山大)・于 燕楠(富山大・院):心霊スポットの空間分布パターンにみる超常現象観の時代変化
14:00	514 仁科淳司*(明治学院大)・三上岳彦(帝京大):夏季の東京における海面気圧の経年変化及び年々変動	614 竹村一男(立正大・非常勤):内村鑑三の宗教的地理学と墓標
14:20	515 瀧本家康(宇都宮大):秋季晴天静穏日の神戸市東部における局地風系の日変化	615 田嶋 玲(明治大・院):檜枝岐歌舞伎の上演場所とその変遷
14:40	516 中村祐輔(立正大・院)ほか:走査型ドップラーライダーに対する傾斜補正手法の提案および検証	616 飯沼健悟(岐阜県土地家屋調査士会):旧厚見郡加納町を事例とした市街地の地租改正事業の様子
15:00	517 菅野洋光*(農研機構)・遠藤洋和(気象研):北日本の近年の気候変動とIPOステージ	617 長島雄毅(愛知工業大・研究員):幕末の丹波国馬路村における縁組み移動
15:20	518 甲斐憲次(茨城大)ほか:中国内モンゴル自治区・ホルチン砂地でのアジアダストの発生と環境変遷	618 古関大樹(京都女子大・非常勤):京都府下における法務局備え付けの明治の地籍図
15:40	519 木村圭司(奈良大):夏季のカザフスタンの降水の特徴とその要因	619 Jeszenszky, P. (Ritsumeikan Univ.) et al.: Historical paths of contact and isolation explain lexical variation in Japanese dialects
16:00	520 森島 済(日本大):ケニア山周辺域における近年の降水量変動の特徴とその季節性	620 小田匡保(駒澤大):現・世田谷区大山街道における伊能忠敬測量隊の測量と地図等の記載内容
16:20		621 野上道男(東京都立大・名誉):伊能図の作図法と縮小図作成法
16:40		622 宇都宮陽二郎(三重大・名誉):沼尻墨僊の大輿地球儀とBettsのNew Portable Terrestrial Globeの製作時期、及び墨僊の地球儀情報の流用可能性に関する一考察
17:00		

## 第1日目 3月20日 (水) 午後

第 7 会 場	第 8 会 場	開始時刻
<p>〈海外研究②〉</p> <p>711 山下清海 (立正大) : 南アフリカ, ヨハネスブルグのチャイナタウンの地域的特色</p> <p>712 堀 光順 (京都大・院) : ウガンダ南西部ニヤムリロ湿地の農地転換と換金作物の栽培</p> <p>713 孫 暁剛 (京都大) : ケニア山地域の水環境と土地利用の変化に対する地域住民の認識と対応</p> <p>714 伊藤千尋 (広島女学院大) : ザンビア・カリバ湖の漁業資源をめぐる諸問題—過剰な利用はなぜ起こるのか？</p> <p>715 高木 仁 (国立民族学博) : カリブ海の人々とウミガメ(2)—英領ケイマン諸島を中心とした産業の広域形成</p> <p>716 横山 智 (名古屋大) ほか : ラオスにおける闘牛の文化生態学</p>	<p>〈産業・経済〉</p> <p>811 宮町良広 (大分大) : 自動車産業における技術変化と生産ネットワーク—九州地方の事例</p> <p>812 勝又悠太郎 (広島大・院) : 富山県高岡銅器産地における高付加価値戦略と産地維持</p> <p>813 鍬塚賢太郎 (龍谷大) : インド地方都市における小規模ICTサービス企業の成長機会</p> <p>814 福田 峻 (東京大・学振DC) : 創業者の地理的背景と創業時イノベーションの関係</p> <p>815 小林 基 (大阪大・学振DC) : イノベーションによる農業変化への進化的アプローチの試み</p> <p>816 王 震霆 (熊本大・院) : 中国南京市江寧区におけるハイテク産業集積地域の形成とイノベーション活動の存立基盤</p>	<p>13:00</p> <p>13:20</p> <p>13:40</p> <p>14:00</p> <p>14:20</p> <p>14:40</p> <p>15:00</p> <p>15:20</p> <p>15:40</p> <p>16:00</p> <p>16:20</p> <p>16:40</p> <p>17:00</p>
<p>〈人口①〉</p> <p>717 申 知燕 (東京大・院) : 東京における韓人若年層の移住とトランスナショナルイズム—留学生および社会人の生活行動および居住地選択を事例に</p> <p>718 宋 弘揚 (東京大・院) : 東京大都市圏における若年中国人移住の動機と社会関係構築の様相</p> <p>719 丁 茹楠 (熊本大・院) : 日本の地方圏に在住する中国人ニューカマーの定住化に関する考察—熊本市を事例に</p> <p>720 川添 航 (筑波大・院) : 在留外国人の定住過程における宗教空間の役割—カトリック教会におけるフィリピン人信徒を事例として</p> <p>721 加藤ゆかり (筑波大・院) : 在日系ブラジル人2世の日本社会への適応要因—群馬県大泉町を事例として</p> <p>722 中川聡史* (埼玉大)・丹羽孝仁 (帝京大) : 日本からタイ・チェンマイへの国際引退移動の近年の変容</p>	<p>817 佐藤彩子 (鳥取環境大) : 介護福祉士の就業特性とその要因—福岡市の特別養護老人ホームを対象として</p> <p>818 甲斐智大 (金沢大・院) : 東北地方における保育労働市場の変容</p> <p>819 畔蒜和希 (明治大・学) : 千葉県における保育労働力の供給と新規学卒労働市場</p>	

## 第2日目 3月21日 (木) 午前

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
9:00	<p style="text-align: center;"><b>シンポジウムS2 (公開)</b></p> <p style="text-align: center;">「地理総合」で何が変わるか</p> <p>日本学術会議地域研究委員会地球惑星科学委員会合同地理教育分科会、日本地理学会地理教育専門委員会・災害対応委員会 共同主催 オーガナイザー：矢野圭司・井田仁康・秋本弘章・浅川俊夫・久保純子</p> <p style="text-align: center;">開始時刻 9:00</p> <p style="text-align: center;">第一部 9:00-10:00 「地理総合」とは何か？ (主担当：地理教育専門委員会)</p> <p style="text-align: center;">〔趣旨説明〕9:00-9:10 井田仁康(筑波大):地理Aとの違いー中高の連続性</p> <p>S201 9:10-9:35 河合豊明(品川女子学院):地理総合の特質と実践ー地図/GISに焦点を当てて</p> <p>S202 9:35-10:00 秋本弘章*(獨協大)・鈴木瑛莉(ESRIジャパン):地理総合の課題と支援ー地図/GISに焦点を当てて</p> <p style="text-align: center;">〔休憩〕 10:00-10:05</p> <p style="text-align: center;">第二部 10:05-12:00 「地理総合」と防災ー何をどう教えるか？ (主担当：災害対応委員会)</p> <p>S203 〔趣旨説明〕10:05-10:20 久保純子(早稲田大):「地理総合」で防災がどのように扱われるか</p> <p>S204 10:20-10:35 南雲直子(土木研):ハザードマップをどう扱うか</p> <p>S205 10:35-10:50 岡谷隆基(国土地理院):地理院地区の活用法</p> <p>S206 10:50-11:05 須貝俊彦(東京大):自然地理的基礎をどう教えるかー課題と展望</p> <p>S207 11:05-11:20 村山良之(山形大):地理総合を教えられる教員をどう育てるか</p> <p>S208 11:20-11:35 長尾朋子(東京女学館):地理総合で教えるべき防災とは</p> <p style="text-align: center;">〔総合討論〕11:35-12:00 終了時刻 12:00</p> <p>12:00-12:20 国際地理オリンピック選抜大会表彰式</p>	<p style="text-align: center;"><b>シンポジウムS7</b></p> <p style="text-align: center;">地理学のアウトリーチのヒント</p> <p>日本地理学会地理学のアウトリーチ研究グループ主催、日本地図学会地図学のアウトリーチ専門部会共催 オーガナイザー：長谷川直子(お茶の水女子大)</p> <p style="text-align: center;">開始時刻 9:30</p> <p>S701 〔趣旨説明〕9:30-9:35 長谷川直子:地理学のアウトリーチのヒント</p> <p style="text-align: center;">〔招待講演〕9:35-10:05 皆川典久(東京スリパチ学会):まちあるきで地理的視点と魅力を伝える</p> <p>S702 10:05-10:35 植木岳雪(千葉科学大):隣接学会のアウトリーチ活動から学ぶ</p> <p>S703 10:35-11:05 森 岳人(ベレ出版):地理学のアウトリーチにおける一般書の出版</p> <p style="text-align: center;">〔休憩〕 11:05-11:15</p> <p style="text-align: center;">〔総合討論〕 11:15-12:00 〔コメント〕 島田泰子(二松学舎大)・太田 弘(慶応義塾普通部)</p> <p style="text-align: center;">終了時刻 12:00</p> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">昼 休 み</p>

## 第2日目 3月21日 (木) 午前

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
<p>〈観光〉</p> <p>331 池田千恵子(大阪市立大・研究員):観光産業の拡大にともなう都市の変容—ツーリズムジェントリフィケーション</p> <p>332 藤村健一(福岡大):世界遺産候補「百舌鳥・古市古墳群」の天皇陵古墳の意味をめぐる葛藤</p> <p>333 遊佐順和(札幌国際大短大部):地域資源の活用による地域活性化に関する研究—北海道鹿部町のA級グルメの取り組みを事例として</p> <p>334 薄井 晴(筑波大・院)ほか:伊那市高遠町における商店街の変容と花見観光の関係性</p> <p>335 山田耕生*(千葉商科大)・藤井大介(大田原ツーリズム):イタリアのアルベルゴ・ディフーズの現状と課題—日本の空き家、古民家の宿泊施設への活用に向けて</p> <p>336 原 真志(香川大):地中海食に関する認知文化経済的地理学研究に向けて</p> <p>337 Wang, M. (Meiji Univ., Grad. Student): Considering the change of tourism space of Chinese visitors in Japan with the development process of rural tourism: An example of Shirakawa village</p> <p>338 呉 鎮宏(早稲田大・院):台湾訪日教育旅行の空間的特徴</p>	<p>〈地形〉</p> <p>431 有江賢志朗(新潟大・院)ほか:飛騨山脈北部における“なだれ涵養型”氷河・雪溪の質量収支</p> <p>432 山縣耕太郎*(上越教育大)・奈良間千之(新潟大):ケニア山山稜南斜面における氷河周辺の地形</p> <p>433 渡部帆南(新潟大・院)・奈良間千之*(新潟大)ほか:ネパール, ランタン・リルン峰における懸垂氷河の崩落の特徴</p> <p>434 八木浩司(山形大)ほか:ネパール中部・小ヒマラヤ帯の河谷を埋積するように発達する高位段丘とその形成年代</p> <p>435 池田 敦(筑波大):日本アルプスの氷河地形認定法の見直し</p> <p>436 田代悠人(東京農工大・院)ほか:極東ロシアにおいて永久凍土と共に成立する植生「マリ」とその地形条件</p> <p>437 福井幸太郎(県立山カルデラ砂防博)ほか:立山カルデラの火口湖新湯の水位変動と水蒸気噴火との関係</p> <p>438 鈴木毅彦(首都大)ほか:埼玉県東部沖積低地における潜在的火山泥流災害の評価</p>	<p>9:00</p> <p>9:20</p> <p>9:40</p> <p>10:00</p> <p>10:20</p> <p>10:40</p> <p>11:00</p> <p>11:20</p> <p>11:40</p> <p>12:00</p>
<p>昼 休 み</p>		

## 第2日目 3月21日 (木) 午前

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
	〈災害〉	
9:00	531 連 嘩(筑波大・院):大規模水害への対応の能力の空間分析—東京都葛飾区を事例として	シンポジウムS3 台風経路と降水量の長期変動 —歴史災害気候学に学ぶ—
9:20	532 岩井優祈(筑波大・院):仙台平野における津波浸水プロセスの実証的研究	[オーガナイザー]三上岳彦(帝京大)・財城真寿美(成蹊大)・平野淳平(帝京大)
9:40	533 村山 徹(愛知大):避難行動と減災に資する人的つながりの地域特性	開始時刻 9:00 〔座長〕財城真寿美(成蹊大)
10:00	534 大邑潤三(京都在):1830年文政京都地震による京都盆地北東部の被害と要因	S301 9:00-9:20 三上岳彦(帝京大):過去の台風と大雨の時空間変動を探索する歴史災害気候学
10:20	535 岩船昌起(鹿児島大):岩手県山田町大浦地区婦人会「炊き出し」記録の検証—避難所活動をパーソナル・スケールの時空間情報として整理する	S302 9:20-9:40 平野淳平(帝京大):歴史天候記録による台風経路復元に向けた展望と課題
10:40	536 白井伸和(倉敷市役所):平成30年7月豪雨における道路啓開活動に関する考察—倉敷市真備町のケーススタディ	S303 9:40-10:00 久保田尚之(北海道大)ほか:日本に上陸した台風の長期変動に関する研究(1881年-2018年)
11:00	537 荒木一視(立命館大):『御坊市を中心とする7.18水害誌』にみる被災地への食料供給—炊き出しを中心に	〔座長〕平野淳平(帝京大)
11:20		S304 10:00-10:20 Grossman, M. (Southern Illinois Univ.) et al.: Typhoons Affecting Japan 1860-1899
11:40		S305 10:20-10:40 釜堀弘隆(気象研):昭和期の顕著台風に伴う大雨
12:00		S306 10:40-11:00 永田玲奈*(和洋女子大・非常勤)・三上岳彦(帝京大):東九州の降水量から推定した20世紀における台風経路の変化
		S307 11:00-11:20 高橋 洋(首都大)ほか:アジアモンスーン域における熱帯低気圧と降水の長期変動
		〔総合討論〕 11:20-12:00
	昼 休 み	

## 第1日目 3月21日 (木) 午前

第 7 会 場	第 8 会 場	開始時刻
シンポジウム S5 変動する沿岸漁場と 順応的環境ガバナンス 〔オーガナイザー〕池口明子 (横浜国立大)・ ネイチャー・アンド・ソサエティ研究グループ 開始時刻 9:00 〔趣旨説明〕 9:00-9:10 池口明子(横浜国立大) 〔座長〕 野中健一 (立教大)	〈人口②〉 831 飯塚 遼 (秀明大):モビリティの増大による ルーラル・ジェントリフィケーション—スコット ランド・ブラックアイルを事例として	9:00
S501 9:10-9:25 前田洋介(新潟大):沿岸漁業地域のコミュニ ティ・ガバナンスの分析に向けて	832 住吉康大 (東京大・学):多様化する二地 域居住と受容地域—千葉県南房総地域を 事例に	9:20
S502 9:27-9:42 吉田国光(金沢大):漁場利用をめぐる主体 間関係の分析に向けた方法論的検討	833 鈴木修斗 (筑波大・院) : 軽井沢にお ける現役世代都市住民の移住とライフ スタイル	9:40
S503 9:44-9:59 崎田誠志郎 (名古屋大)・松井 歩* (名古 屋大・学振DC) : 沿岸漁場のガバナンスと 漁業協同組合 〔座長〕 林 紀代美 (金沢大)	834 藤 媛媛 (大阪商業大) : 定住意識の規定 要因について—日本版総合的社会調査の 結果から	10:00
S504 10:01-10:16 田和正孝 (関西学院大) : 「兵庫瀬戸内」に おける漁業の維持機能—漁業者・系統団 体・研究機関・行政	835 上杉昌也 (福岡工業大) : 2000年以降 における社会経済的居住分化の都市比 較	10:20
S505 10:18-10:33 横山貴史 (立正大) : 津波災害からの復旧 過程にみる漁業地域の順応力—宮城・岩 手の事例	836 豊田哲也 (徳島大) : 大学進学率の地域格 差はなぜ縮まらないのか?—都道府県別 に見た学歴の再生産と選択的人口移動	10:40
S506 10:35-10:50 池口明子 (横浜国立大)ほか:磯焼けへの 対応からみる順応的資源ガバナンス	837 小林直弘 (明治大・院) : 地元に残る専門 学校卒業生—東京都調布市周辺の事例	11:00
〔休憩〕 10:50-10:55 〔座長〕 池口明子 〔コメント〕 今里悟之 (九州大) 10:55-11:10 川辺みどり (東京海洋大) 11:10-11:25 〔総合討論〕 11:25-12:00		11:20
昼 休 み		12:00

## 第2日目 3月21日 (木) 午後

開始時刻	第 1 会 場	第 3 会 場
13:00	<p style="text-align: center;">シンポジウムS2 (公開)</p> <p style="text-align: center;">「地理総合」で何が変わるか</p> <p style="text-align: center;">第三部 13:00-15:00 緊急提言―「地理総合」で何が変わるか (主担当: 日本学術会議地理教育分科会)</p>	<p style="text-align: center;">シンポジウムS6</p> <p style="text-align: center;">自然と人間の関わりの地理学 ―環境研究と社会連携―</p> <p>[オーガナイザー] 渡辺和之(阪南大)・池谷和信(国立民族学博), [共催] ネイチャー・アンド・ソサエティ研究グループ</p>
	<p>S209 [趣旨説明] 13:00-13:05 矢野桂司*・井田仁康・秋本弘章・浅川俊夫・久保純子: 「地理総合」で何が変わるか</p>	<p style="text-align: center;">開始時刻 13:00</p>
	<p>S210 13:05-13:20 橋本雄一(北海道大): 汎用・基盤的データの存続と地理教育</p>	<p>S601 [趣旨説明] 13:00-13:15 渡辺和之*(阪南大)・池谷和信(国立民族学博): 地域社会のための統合地理学</p>
	<p>S211 13:20-13:35 小林岳人(県立千葉高): 「地理総合」におけるGISに関する教員研修・教育実習</p>	<p>[座長] 池谷和信(国立民族学博)</p>
	<p>S212 13:35-13:50 青柳慎一(久喜市立栗橋西中): 中学校から高等学校「地理総合」への接続</p>	<p>S602 13:15-14:00 小野有五(北海道大・名誉): 「地理学」の脱構築・再構築をめざして</p>
	<p>S213 13:50-14:05 須原洋次(龍谷大): 中高接続を踏まえた高校地理教育の工夫</p>	<p>[休憩] 14:00-14:05</p>
	<p>S214 14:05-14:20 鈴木康弘(名古屋大): 「地理総合」における自然地理と防災</p>	<p>[座長] 池谷和信(国立民族学博)</p>
	<p>S215 14:20-14:35 岡橋秀典(奈良大): 「地理総合」における国際理解とは</p>	<p>S603 14:05-14:25 奈良間千之(新潟大): 氷河・氷河湖研究の社会連携への展開</p>
	<p>[総合討論] 14:35-15:00 終了時刻 15:00</p>	<p>S604 14:25-14:45 中島弘二(金沢大): 「人新世」の時代における環境運動</p>
	<p style="text-align: center;">地理教育公開講座 15:10-17:30</p> <p style="text-align: center;">高等学校地理教育の課題と展望</p> <p style="text-align: center;">開始時刻 15:10</p>	<p>[休憩] 14:45-14:50</p>
	<p>発表1 鈴木 允(横浜国立大): 学習材としての地図・統計とその活用についての実践的課題</p>	<p>[座長] 渡辺和之(阪南大)</p>
	<p>発表2 小河泰貴(県立津山高): 地理的思考力とその育成についての検討―国際地理オリンピックの出題内容を踏まえて</p>	<p>[コメント] 14:50-15:10 岩田修二(東京都立大・名誉): 統合自然地理学の視点から 池谷和信(国立民族学博): 地球環境学の視点から</p>
	<p>発表3 牛込裕樹(大妻中野中・高): 学びに向かう力を養う地理授業の検討と課題</p>	<p>[総合討論] 15:10-15:50</p>
	<p>コメント①: 近藤裕幸(愛知教育大) コメント②: 小岩直人(弘前大) 総括: 須原洋次(龍谷大) 司会: 吉田 剛(宮城教育大)</p>	<p style="text-align: center;">終了時刻 15:50</p>
17:00	<p style="text-align: center;">終了時刻 17:30</p>	

## 第2日目 3月21日 (木) 午後

第 4 会 場	第 5 会 場	開始時刻
<p>シンポジウムS4</p> <p style="text-align: center;">人口の「田園回帰」と 雇用・起業の地域的条件</p> <p>[オーガナイザー] 中澤高志(明治大)・小田宏信(成蹊大)・石丸哲史(福岡教育大), 産業経済の地理学研究グループ, 共催: 国際経済・経営地理学研究グループ</p> <p style="text-align: center;">開始時刻 13:00</p> <p>[座長] 鹿嶋 洋 (熊本大)</p> <p>S401 [趣旨説明] 13:00-13:10 小田宏信(成蹊大)ほか: 地方圏経済の現状と人口の「田園回帰」</p> <p>S402 13:10-13:25 平井 誠 (神奈川大) : 地方圏小規模市町村における人口流入の動向</p> <p>S403 13:25-13:40 中澤高志(明治大): 若手創業者を支える内と外のネットワーク—長野県上田市での調査から</p> <p>S404 13:40-13:55 小室 譲(筑波大・院)ほか: 伊那市中心市街地における移住者を支える新規開業の地理的条件</p> <p>S405 13:55-14:10 石丸哲史(福岡教育大): 地方におけるソーシャルビジネスの実態と起業環境</p> <p>S406 14:10-14:25 平 篤志(香川大): 地方における中小企業(起業を含む)支援と企業同士の学び合い—香川県を事例として</p> <p>S407 14:25-14:40 小田宏信(成蹊大): 徳島県におけるサテライトオフィス誘致と地域活性化(1) —その概況と意義</p> <p>S408 14:40-14:55 遠藤貴美子(敬愛大): 徳島県におけるサテライトオフィス誘致と地域活性化(2) —海部郡美波町の実態報告</p> <p>S409 14:55-15:10 藤田和史(和歌山大): 徳島県におけるサテライトオフィス誘致と地域活性化(3) —大学サテライトオフィスの役割</p> <p>[コメント] 15:25-15:45 宮地忠幸(日本大)・山本匡毅(相模女子大)</p> <p>[総合討論] 15:45-16:30 終了時刻 16:30</p>	<p>シンポジウムS8</p> <p>日本における地域包括支援体制の構築—地域包括ケアシステムの現状と地域共生社会への展望—</p> <p>[オーガナイザー] 宮澤 仁(お茶の水女子大)・畠山輝雄(鳴門教育大)・由井義通(広島大)・中條曉仁(静岡大)・埴淵知哉(中京大)・久木元美琴(大分大), 少子高齢化と地域問題研究グループ</p> <p style="text-align: center;">開始時刻 13:00</p> <p>[趣旨説明] 13:00-13:05 宮澤 仁 (お茶の水女子大)</p> <p>[第1部] 地域包括ケアシステムの現状 13:05-14:15</p> <p>[司会] 久木元美琴 (大分大)</p> <p>S801 宮澤 仁*(お茶の水女子大)・畠山輝雄(鳴門教育大): 地域包括ケアシステムの空間的・地域的バリエーション</p> <p>S802 中村 努(高知大) : 高知県梶原町における地域包括ケアシステム構築にみる集権型ローカル・ガバナンス</p> <p>S803 杉浦真一郎(名城大) : 福岡県福津市における地域包括ケアシステムにみるローカル・ガバナンスの変化</p> <p>S804 畠山輝雄(鳴門教育大): 神奈川県藤沢市における地域包括ケアシステム構築にみる分権型ローカル・ガバナンス</p> <p>[第1部 まとめ] 畠山輝雄(鳴門教育大)</p> <p>[第2部] 地域共生社会への展望 14:15-15:40</p> <p>[司会] 畠山輝雄(鳴門教育大)</p> <p>S805 宮澤 仁*(お茶の水女子大)・多田佳乃子(ブリヂストン): 妊娠・出産・育児のための地域包括ケアシステム—埼玉県和光市・山梨県北杜市の事例から</p> <p>S806 稲田七海(大阪市立大・研究員): 高齢生活保護受給者の孤立防止を目的とした地域支援体制の構築—大阪市西成区における居場所づくり事業を事例に</p> <p>S807 久木元美琴(大分大): 「共生型ケア」の普及における現状と課題—国および自治体による政策の影響に着目して</p> <p>S808 小泉 諒(神奈川大): 包括型の地域支援拠点の形成—神奈川県横浜市</p> <p>S809 中條曉仁(静岡大) : 中山間地域における住民参加の福祉活動と「地域共生社会」の可能性</p> <p>[第2部 まとめ] 宮澤 仁(お茶の水女子大)</p> <p>[コメント] 佐野 充(日本大)</p> <p>[総合討論] 司会 由井義通(広島大) 終了時刻 16:30</p>	<p>13:00</p>

# 第1・2日目 3月20・21日 (水・木)

## ポスター会場

### ポスター発表

ポスター発表は、3月20日(水)10時～18時までと3月21日(木)9時～15時まで、ポスター会場で行います。コアタイムは、3月20日(水)17時～18時もしくは3月21日(木)11時40分～12時10分の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。

P001 後藤健介(大阪教育大):教育現場における防災・減災活動の現状と課題	P012 志村 喬*(上越教育大)・阿部信也(上越教育大・院):自校化された防災教育の中学校社会科地理的分野での授業実践—新潟県三条市における単元開発と実践成果
P002 上芝卓也(国土地理院)ほか:ハザードマップポータルサイトにおける多様な災害リスク情報の提供について	P013 古田 昇(徳島文理大)ほか:地域の災害耐性を再認識させる遠隔配信による防災教育
P003 佐藤 剛(帝京平成大)ほか:重力変形する火山灰被覆斜面堆積物の強度特性—阿蘇カルデラでの事例	P014 黒木貴一(福岡教育大):ハザードマップ作成体験の学生支援の試み
P004 西村智博(国際航業)ほか:治水地形分類図からみた2016年8月北海道豪雨災害(その4)—常呂川水系の被害状況	P015 浜田純一(首都大)ほか:インドネシア・ジャカルタにおけるモンスーン降水長期変動
P005 横田彰宏(明治コンサルタント)ほか:干渉SARと古地理でみる札幌市の地震被害—2018年北海道胆振東部地震	P016 赤坂郁美(専修大)ほか:19世紀後半のマニラにおける風向と降水量の季節変化
P006 青山雅史(群馬大):2018年北海道胆振東部地震による札幌市清田区美しが丘と清田六条・七条地区の宅地地盤被害域の土地条件	P017 井上知栄(首都大・非常勤)ほか:ミャンマーにおける19世紀末以降の日降水量データを用いた過去125年間の降水量変動
P007 森田匡俊(岐阜聖徳学園大)ほか:「海から目線」の防災—動画による津波避難経路情報提供の有効性の検証	P018 山根悠介*(常葉大)・Akter Fatima(ダッカ大):バングラデシュにおけるシビアローカルストームの経年変化
P008 竹内 峻(広島大・学)ほか:平成30年7月豪雨による広島県南部における斜面崩壊の詳細分布図の作成と地域の特徴	P019 木口雅司(東京大)ほか:バングラデシュにおける126年日降水量を用いた降水特性の変化
P009 村山良之*(山形大)・佐藤 健(東北大):東日本大震災の経験と地域の条件をふまえた学校防災教育モデルの創造—石巻市復興防災マップづくり	P020 釜堀弘隆(気象研)ほか:関東・東海地方の降水量観測データレスキュー
P010 小岩直人(弘前大)ほか:西津軽の小中学校における防災教室の実践と応用	P021 山本晴彦(山口大):帝国日本における気象観測ネットワークの構築—朝鮮総督府1
P011 澤 祥(鶴岡高専):酒田市立小学校・中学校における活断層防災教育—活断層防災教育に求められているもの	P022 小林 茂(大阪大・名誉):日清・日露戦争期の日本の気象観測網の拡大と電信線

# 第1・2日目 3月20・21日 (水・木)

## ポスター会場

### ポスター発表

ポスター発表は、3月20日(水)10時～18時までと3月21日(木)9時～15時まで、ポスター会場で行います。コアタイムは、3月20日(水)17時～18時もしくは3月21日(木)11時40分～12時10分の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。

P023	Vitanova, L.*, Kusaka, H. (Center for Computational Sciences, the University of Tsukuba): Urban Heat Islands in the major Bulgarian cities	P034	中山大地(首都大): 決定木を用いた伊豆大島における土砂災害に関する研究
P024	曾根敏雄*(北海道大)・斉藤和之(JAMSTEC): 年平均地表面温度と永久凍土面温度との違い	P035	佐藤 浩*(日本大)・坂口雄太(日本大・学): 阿蘇カルデラ北西部・的牧場 I 断層上の表層火山灰再堆積物の分析
P025	山口隆子(法政大)ほか: 夏季に結氷するオルムゴルにおける気温分布	P036	石村大輔*(首都大)・平峰玲緒奈(首都大・院): 十和田一中嶽(To-Cu)テフラの詳細対比とその分布
P026	成田瑞徳*(専修大・学)・赤坂郁美(専修大): 青森県における1967～2017年の降積雪に関する長期変化	P037	平峰玲緒奈*(首都大・院)ほか: 現世海岸における漂流軽石の主成分化学組成からみた給源の推定
P027	大山 駿*(日本大・院)・森島 済(日本大): 5月下旬における本州付近の少雨期と前線出現数との連関	P038	石橋真那美(専修大・学)ほか: 上高地・横尾南方の不淘汰堆積物は氷河が岩小屋モレーン以低に伸びていた可能性を示す
P028	神居幸恵*(日本大・院)・森島 済(日本大): 山形県におけるアウトウの収量変動と開花期間の天候による影響	P039	杉山博崇*(新潟大・学)・奈良間千之(新潟大): 白馬大雪渓周辺における近年の岩盤斜面の変化
P029	井堀雄介(首都大・院)・川東正幸*(首都大): 長野県における農業的土地利用が黒ボク土の分布に及ぼす影響	P040	栗本享宥(専修大・学)ほか: 岐阜県郡上市明宝の水沢土地すべりと1586年天正地震
P030	森下瑞貴*(首都大・院)・川東正幸(首都大): 日本の農耕地における腐朽質泥炭土の分布規定因子	P041	川又基人(総合研究大学院大・院)ほか: 南極地域観測隊空中写真を用いた高解像度数値地形モデルの作成
P031	北原舜太(法政大・学)ほか: 2018年新燃岳噴火以後の霧島火山周辺の水質の変化	P042	小山拓志(大分大): UAV-SfM測量と地中レーダーを活用した東南極内陸部における多角形土の三次元形態の把握: 火星地表環境解明への展開
P032	乙幡正喜(法政大・学)ほか: 狭山丘陵の水環境に関する水文地理学的研究(2)	P043	佐野 亘(九州大・院)ほか: 久米島東部におけるサンゴ礁ラグーンの堆積過程
P033	研川英征(国土地理院)ほか: 草津白根山における推定小火口群の発見とその意義高精度一標高データの活用	P044	田中美保(九州大・院)ほか: マルチビーム測深によって明らかになった奄美大島住用湾の海底地形

# 第1・2日目 3月20・21日 (水・木)

## ポスター会場

### ポスター発表

ポスター発表は、3月20日(水)10時～18時までと3月21日(木)9時～15時まで、ポスター会場で行います。コアタイムは、3月20日(水)17時～18時もしくは3月21日(木)11時40分～12時10分の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。

P045 後藤秀昭(広島大): 沖縄県北部の伊是名島から海底段丘に連続する断層地形	P056 徳本直生(専修大・学)ほか: 天城火山南東部・白田川流域における段丘形成史と地すべり
P046 田力正好*(地震予知振総合研究振興会)・中田 高(広島大): 仙台西断層と福島盆地東縁断層—東北地方の横ずれ断層の発見とその意義	P057 舟津太郎(東京大・院)ほか: 地形面縦断面形の数式近似による、MIS 6以降における武蔵野台地の発達過程
P047 平澤 賢(信州大・学): 飯山盆地長峰丘陵周辺の活構造と地形発達	P058 石原武志(産総研): 加賀平野北部の浅部地下地質構造と地盤の有効熱伝導率
P048 水谷光太郎(信州大・院): 変位量分布に基づく糸静線活断層系神城断層南部の活動特性	P059 米原和哉*(名古屋大・院)・堀 和明(名古屋大): 天神川水系の礫径変化からみた堆積物の連結性
P049 井口 豊(生物科学研): Google Earth を利用した神城断層地震の地表変動の解析	P060 高瀬南歩*(東京学芸大・学)・青木 久(東京学芸大): 沿岸流による礫浜堆積物の粒径と円形度の空間的変化—伊豆半島大瀬崎の事例
P050 中田 高(広島大・名誉)ほか: ALOS 30 DSMアナグリフ画像を用いた活断層の効率的な広域マッピング	P061 原田悠紀*(東京学芸大・学)・青木 久(東京学芸大): 波食棚の形成をもたらす海食崖の後退に与える風化作用の影響—砂岩塊からなる石垣を用いたアプローチ
P051 熊原康博(広島大)ほか: ALOS 30 DSMアナグリフ画像及び空中写真を用いたブータン南部の活断層のマッピング	P062 森脇 広*(鹿児島大・名誉)・永迫俊郎(鹿児島大): 南九州における最終氷期以降の古環境・文化の統合的高精度編年の試み
P052 早田圭佑(信州大・学)ほか: 静岡県菊川低地にみられる浜堤の形成過程と地殻変動との関連性	P063 西倉瀬里*(首都大・学)・川東正幸(首都大): 諫早湾自然干陸地における植生遷移と土壌生成
P053 小野映介*(新潟大)・小岩直人(弘前大): 完新世後期の青森平野南部において生じた急激な地形環境変化	P064 田中 靖(駒澤大): 日本の主要四島の高度分布とその地理的意味
P054 山中 蛍*(広島大・学)・後藤秀昭(広島大): 遠州灘西部沿岸に分布する段丘面の広域対比と地殻変形の推定	P065 志田清佳(日本大・院)ほか: 衛星画像を用いたカンボジア・クーレン山における森林伐採と農地転用
P055 原 知弘(信州大・学): 高田平野における第四紀後期の地形発達	P066 山科千里*(筑波大)・原 将也(立正大): ナミビアのモパネウッドランドにおいて動物の種子散布がシロアリ塚に多様な植生を生み出す

# 第1・2日目 3月20・21日 (水・木)

## ポスター会場

### ポスター発表

ポスター発表は、3月20日(水)10時～18時までと3月21日(木)9時～15時まで、ポスター会場で行います。コアタイムは、3月20日(水)17時～18時もしくは3月21日(木)11時40分～12時10分の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。

- |   |  |
|---|--|
| P067 手代木功基 (摂南大) : ケニア山、Tyndall氷河の後退域における大型半木本性植物の実生の動態と分布の特徴 | P078 府和正一郎 (北陸大・非常勤) : 加賀市菅生石部神社と金沢市大野湊神社の野外寄進物                          |
| P068 小栗慎之亮* (静岡大・院)・佐治 斉 (静岡大) : 高解像度衛星画像における都市部に適した植生指数の提案   | P079 鈴木 允 (横浜国立大) : 大正・昭和初期における山村地域からの出寄留者の職業と世帯—愛知県東加茂郡賀茂村『寄留届綴』の分析から   |
| P069 濱 侃 (千葉大・学振DC)ほか: 水稻の栄養素への温暖化の影響                         | P080 高村 岳 (法政大・学)・小寺浩二 (法政大) : 北上川流域の中学校校歌でうたわれる環境要素に関する研究               |
| P070 杉田 優 (北海道大)ほか: 世界遺産”知床”での海ゴミの量と起源の推定                     | P081 横山秀司 (九州産業大) : 人新世の地理学・景観生態学  |
| P071 吉岡美紀 (地理学会) : 「北極域」地区から読み取れる地形                           | P082 竹中克行 (愛知県立大) : スペイン・アンダルシア自治州の景観政策—景観概念の万能性と政策の地理学的基盤               |
| P072 石川和樹* (首都大・学振DC)・中山大地 (首都大) : 近代の職業別電話帳に関する精度評価          | P083 齊藤由香 (金城学院大) : スペイン・アンダルシア自治州の景観政策—自治州各省庁による施策の総合化の試み               |
| P073 浦山佳恵 (長野県環境保全研) : 長野県開田高原における1955年頃の草地利用                 | P084 畠山輝雄 (鳴門教育大) : 公共施設へのネーミングライツの導入と地理学的研究の可能性                         |
| P074 中山 玲 (首都大・院) : マレーシア・キヤメロンハイランドにおけるティープランテーションの空間的特徴     | P085 駒木伸比古 (愛知大) : コンパクトなまちづくりに向けた「線引き」の空間構造—立地適正化計画の誘導区域の設定に注目して        |
| P075 杉江あい (学振PD・東京外国語大)ほか: バングラデシュロヒンギャ難民キャンプ地帯における地下水資源と水利用  | P086 薬師寺恒紀 (慶應義塾大・学) : 民生用UAV (ドローン) の簡易水道事業での活用の可能性について—東京都利島村での実験を例として |
| P076 小原文明 (法政大) : 台北市における伝統民居の立地と保存・活用状況                      | P087 中岡裕章 (日本大) ほか: 北海道中川町における化石を活用した地域づくりの可能性                           |
| P077 筒井 裕 (帝京大) : キルギス共和国チュイ州の農村における移住に関する文化地理学的研究            | P088 桐村 喬 (皇學館大) : 戦前期の日本の大都市におけるホワイトカラーの居住地分析資料としての電話帳の利用可能性            |

# 第1・2日目 3月20・21日 (水・木)

## ポスター会場

### ポスター発表

ポスター発表は、3月20日(水)10時～18時までと3月21日(木)9時～15時まで、ポスター会場で行います。コアタイムは、3月20日(水)17時～18時もしくは3月21日(木)11時40分～12時10分の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。

- P089 栗林 梓(名古屋大・院):大学の都心回帰・撤退現象からみた郊外都市空間における大学の機能
- P090 長崎宏輝(筑波大・院):高齢者の移動パターンと交通サービス供給の課題—茨城県つくば市荖崎地区の福祉有償運送を事例に
- P091 吉田 真(筑波大・院):過疎地域の高齢者に対する生活支援サービスの役割—山梨県北杜市須玉町を事例として
- P092 呉 咏楠(日本大):新宿駅周辺地域におけるインバウンド観光の実態
- P093 伊藤直之(鳴門教育大):英国地理教科書における「探究学習」はいかに作られるか—THIS IS GEOGRAPHYの場合
- P094 伊藤 恵(仙台城南高):「地理総合」における「国際理解と国際協力」分野の一試み
- P095 神宮公平(県立川内高):「地理総合」に向けて地理的思考・判断力の育成—国際地理オリンピック選抜問題の教材化
- P096 原山拓也\*(上越教育大・院)・山縣耕太郎(上越教育大):日本の扇状地における土地利用規定要因の検討